

文 華

ぶんか



「偃武修文」

辻 敬齋

令和八年十月二十五日
令和八年十二月一日
毎月一回一日発行
〔文華〕第七十三卷
第十一号

書道研究

真弓書道會事務所発行

11

2026
(870号)

第74回 全国真弓書道展

審査員

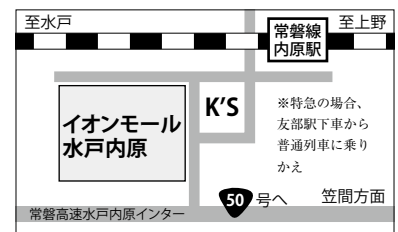
《一般の部》

辻 敬齋	北見 清園	石井 春秀	今橋 知鄒	大津 桂風
小古瀬修山	小林 瑞幸	山田 安里	渡部 翔風	塩原 正裕

《学生の部》

辻 敬齋	北見 清園	石井 春秀	今橋 知鄒	中山 白堂
辻 いづみ	川口 麗洋	小玉 幸桜	八文字聖媛	平山 里彩

- ◎会 期 令和9年3月27日(土)～3月30日(火)予定 10:30～17:00 最終日は午後3時まで
 ◎会 場 イオンモール水戸内原
 ◎後 援 茨城県、茨城県議会、茨城県教育委員会、水戸市、日立市、水戸市議会、日立市議会、
 水戸市教育委員会、日立市教育委員会、日立市文化協会、茨城新聞社、読書法会、
 謙慎書道會、全日本篆刻連盟 他
 (以上申請中)



【実施要項】

- ◆搬入、陳列 3月26日(金) 予定 午後1時～
- ◆授 賞 式 3月27日(土) 予定 午後2時～
- ◆取外、搬出 3月30日(火) 予定 午後3時～

- ◇作品受付 日時 令和9年1月25日(月) 事務所(水戸市宮町1-9-8-1208) 必着
 ○作品に出品票を添えること。

◎振込先(出品料・表装料・会費)

口座番号 10680 番号 35081801
 マユミシヨドウカイ

- ◇審 査 出品規格以外の作品は審査対象になりません。審査に対して異議を申し立てることはできません。

- ◇褒 賞 川上清亭賞 茨城新聞社賞 敬仁文會賞 奨励賞 (審査会員以上)
 茨城県知事賞 茨城県議会議長賞 茨城県生活環境部長賞
 茨城県教育委員会教育長賞 水戸市長賞 日立市長賞 水戸市議会議長賞
 日立市議会議長賞 水戸市教育委員会教育長賞 日立市教育委員会教育長賞
 日立市文化協会会長賞
 (以上申請中)
 真弓書道會會長賞 文華優秀賞 文華賞 特選

【実施規定】

一般部 (満十八歳以上)	役員 第一部 第二部 出品料	審査会員以上 評議員 会員、誌友 役員 別に定める	課題自由 漢字、かな、調和体、篆刻のいずれか、1点/1人とする。 課題自由 漢字、かな、調和体、篆刻のいずれか、1点/1人とする。 課題自由 漢字、かな、調和体、篆刻のいずれか、1点/1人とする。 第一部 16,000円 第二部 12,000円 U-23 6,000円 (令和9年4月1日時点で23歳以下の者)
	寸法規定(紙のサイズ)		表装料
	役員 (審査会員以上)	半切 1/2 半紙(篆刻のみ)	縦のみ 縦のみ 5,500円 5,500円
	第一部 (評議員)	半切 半紙(篆刻のみ)	縦のみ 縦のみ 6,500円 5,500円
	第二部 (会員・誌友)	半切 半紙(篆刻のみ)	縦のみ 縦のみ 6,500円 5,500円
	※謹慎展・日本の書展茨城展出品作を出品することも可とする。		
学部	毛筆部	作品サイズ	出品料
	高校生	半切 縦書き(謹慎展出品作でも可)	4,500円(表装料を含む)
	中学生	半紙 縦書き	2,000円(表装料を含む)
	小学生	半紙 縦書き	2,000円(表装料を含む)
	幼年	半紙 縦書き	2,000円(表装料を含む)
学部硬筆部はありません。			

【学部課題】

学 年	毛筆部課題
中学生 小学生 幼年	自 由 (ただし学年で学習する漢字使用のこと。)

【小作品募集】

◇出品資格

第73回真弓書道展出品予定者(一般部)。小作品のみ出品は不可。

◇出品料 - 1,000 円

◇作品のサイズ

葉書サイズで原則1人1点とする。

◇即、展示出来る状態(額装)で搬入日に会場へ持参する。

(午後1時厳守。)

◇搬入・搬出は原則として各自が行う。

◇審査表彰はしない。一般作品と同じ展示会場に展示する。

◇出品者は必ず出品票を締め切り日に提出すること。

【締め切り

令和9年1月25日(月)必着】

〈真弓書道展 作品研究会のお知らせ〉

下記、真弓書道展に向けての研究会を行います。皆で切磋琢磨して、良い作品を作成して参りましょう。役員の方はもちろん、初出品の方、初学の方も是非参加下さい。必ず得るものがあると思います。多数のご参加を期待いたします。

記

日 時/①令和8年12月19日(土)15時～

②令和9年1月23日(土)15時～

指導者/辻 敬齋(真弓書道會會長) 参加費/各回 3,000 円

会 場/日立市河原交流センター(日立市東多賀町3-7-5)

※水戸・日立教場に毎月参加している方は各回2,000円。

※日時は都合により変更する場合があります。その際は、文華誌にてお知らせ致します。

※手本希望の方は、所定の手数料と返信用の封筒を添えて早めに申し込んで下さい。原則研究会時に手本は書きません。

※今回は都合がつかず、2回のみの実施となります。選別はありません。

☆手本申込み 事務所 〒310-0015 水戸市宮町1-9-8-1208

宅急便、ゆうパック、レターパックプラスでは受け取りが難しい為、極力郵便かレターパックライトでの送付をお願いします。

〔隸書〕 楊峴【臨西嶽華山廟碑軸】

辻 敬 齋 臨



◎釈文 奄有河朔。遂荒華陽。觸石興雲。雨我

〔筆・敬仁文會（三八五〇円）使用〕

〔楷書〕 李壁墓誌銘

辻 敬 齋 臨



◎釈文 仁。父楚。秘書著作郎。妻。滎陽鄭氏。字。讀み 仁。父の楚は、秘書著作郎。妻は滎陽の鄭氏、字は

〔筆・敬仁文會（三八五〇円）使用〕

作品の左側に所属・段級・姓号を鉛筆で書いて下さい。

〔行草書〕 沈佺期句 紅樓疑見白毫光 寺逼宸居福盛唐

辻 敬 齋 書

紅樓疑見白毫光
寺逼宸居福盛唐

◎ 釈文
紅樓白毫の光を見るかと疑う
寺は宸居に逼りて盛唐に福す

〔筆・古義（三八五〇円）使用〕

〔かな条幅部課題〕 紀友則のうた

日展準会員 岩井 秀樹先生書

くれないのいろにはいじかくれぬのしたにかよひてこひはしぬとも
くれないのいろにはいじかくれぬのしたにかよひてこひはしぬとも

◎ 釈文
くれないのいろにはいじかくれぬのしたにかよひてこひはしぬとも

・歌意（紅が鮮やかなように）私は人目にたつようなことはいたしません。（外から見えなくなっている沼の水が流れるように）たとえば思いを

胸に秘めて、恋こがれて死のうとも。

作品の左側に所属・段級・姓号を鉛筆で書いて下さい。

【作品送付の際のお願い】 事務所へ作品送付の際は、必ず封筒に「○月号競書」、「昇格試験作品」と朱書きするようにお願いいたします。競書作品の中に昇格試験作品を入れること、またその逆も避けてください。御協力の程をお願いいたします。

規定部

①

九成宮醴泉銘

(11)

欧陽詢

辻

敬
齋
臨

可以激瑩心

可以激瑩心

・釈文 「可以激瑩心」
◎読み 以て心（神を）ちようえい 激瑩す可し。

— 師範から準初段まで —

● 11 月 25 日締切（事務所必着）

4、5日早目にお送り下さい。（締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります）
名前は、所属、段級、姓号又は姓名を（楷書で）書いて下さい。（号だけでは審査減点）

コピー手本（規定①②、随意、臨書、かな①②③、実用書、細字の9種セット）ご希望の方は350円で御送りします。

宅急便、ゆうパック、レターパックプラスでは受け取りが難しい為、
極力郵便かレターパックライトでの送付をお願い致します。

規定部

②

慈母手中線

辻

敬齋書

慈母手中線

◎ 釈文
・解

慈母^{じぼ}手中^{しゅちゅう}の線^{せん}

慈愛深い母の手の中にある糸は、旅に出るわが子の身につける衣服を縫う為のものだ。

慈母手中線

条幅参考

— 1 級から 10 級まで —

コピー手本（規定①②、随意、臨書、かな①②③、実用書、細字の 9 種セット）ご希望の方は 350 円で御送りします。

● 11 月 25 日締切（事務所必着）

（注）下記の隷書、行書、草書を出品する場合は「文華随意」の付せんを使用してください。

草書

慈母手中線

行書

慈母手中線

隷書

慈母手中線

随意部参考（随意付箋使用）

是微言廣被

是微言廣被

・釈文 「是微言廣被。」
◎読み 是に(於いて)微言広く被_まび

● 11 月 25 日締切 (事務所必着)

4、5 日早目にお送り下さい。(締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります)
名前は、所属、段級、姓号又は姓名を行書で書いて下さい。(号だけでは審査減点)

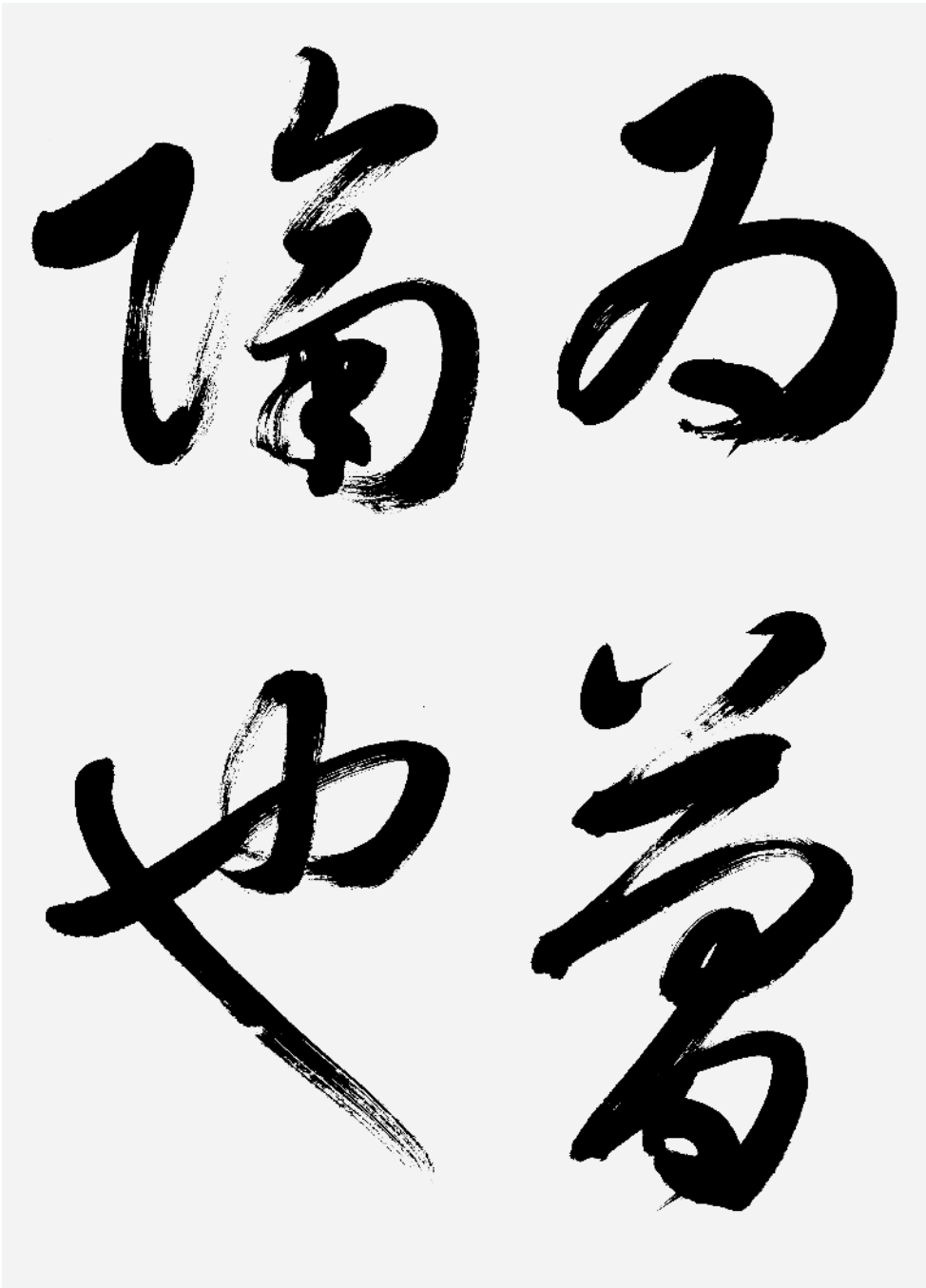
コピー手本 (規定①②、随意、臨書、かな①②③、実用書、細字の 9 種セット) ご希望の方は 350 円で御送りします。

宅急便、ゆうパック、レターパックプラスでは受け取りが難しい為、
極力郵便かレターパックライトでの送付をお願い致します。

臨書部

十七帖(11) 王羲之

辻敬齋臨



・ 釈文 「為簡隔也。」
◎ 読み 簡隔かんかくを為すなり。

● 11月25日締切（事務所必着）

4、5日早目にお送り下さい。（締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります）
名前は、所属、段級、姓号又は姓名を草書で書いて下さい。（号だけでは審査減点）

ペン字部

< 随意部 >



(手本は130%に拡大すると用紙の大きさになります)

< 規定部 >



(手本は128%に拡大すると用紙の大きさになります)

ペン字部(規定部)と(随意部)は同一段級となります。
作品の段級は、段位は「漢数字」、級位は「算用数字」で書いてください。

辻 いづみ書

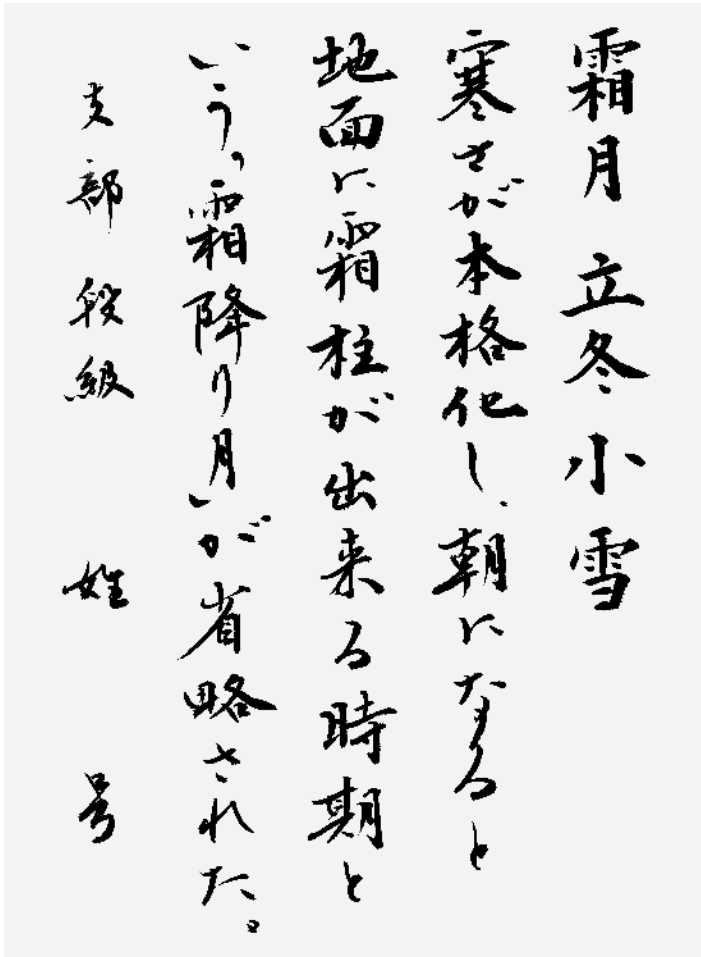
● 11月25日締切(事務所必着)

4、5日早目に御送り下さい。(締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります)

※検定用紙、規定はマス型、随意は3行型検定用紙を使用して下さい。検定用紙(50枚230円・送料別)は事務所までご請求下さい。

宅急便、ゆうパック、レターパックプラスでは受け取りが難しい為、
極力郵便かレターパックライトでの送付をお願い致します。

実 用 書 部



辻 敬 齋 書

※用紙 半紙タテ書（普通半紙を使用のこと）

● 11 月 25 日締切（事務所必着）

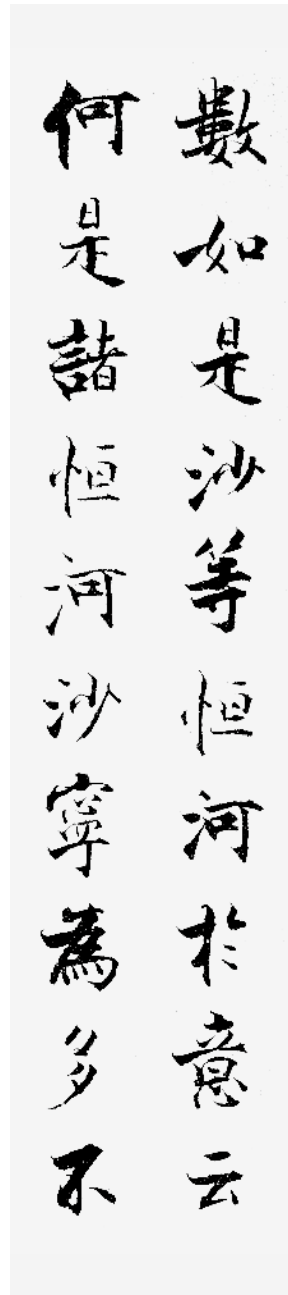
4、5 日早目にお送り下さい。

（実用書部は規定部と別ですので、
独自の段級を書いて下さい。）

作品の段級は、段位は「漢数字」、
級位は「算用数字」で書いてください。

◎ 釈 文

數如是沙等恒河於意云何是諸恒河沙寧為多不



細 字 部

〔楷書〕張即之 金剛般若經

● 11 月 25 日締切（事務所必着）

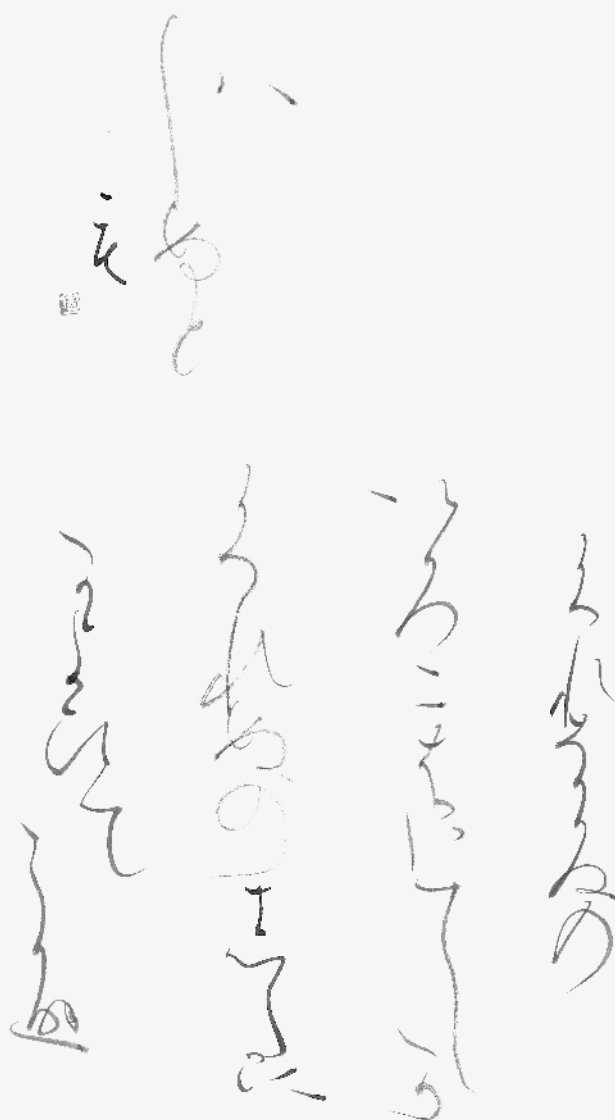
半紙タテ ½

4、5 日早目にお送り下さい。（締切後着は
氏名だけ後尾に発表するか没書になります）
名前は、所属、段級、姓号又は姓名を（楷
書で）書いて下さい。（号だけでは審査減点）

◎ 積文

・歌意

くれない奈なるのいろにはいじ二かくれぬ者のしたにかよひてこひはしぬ志多とも可
 (紅くれないが鮮やかなように) 私は人目にたつようなことはいたしませんまい。(外から見えなくなっている
 沼の水が流れるように) たと思いを胸に秘めて、恋こがれて死のうとも。



● 11月25日締切（事務所必着）

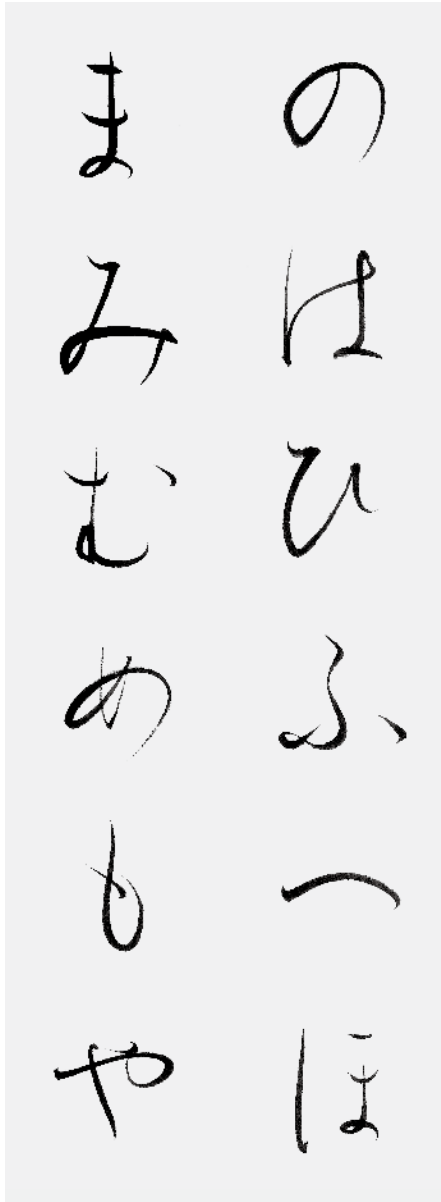
4、5日早目にお送り下さい。（締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります）
 名前は、所属、段級、姓号又は姓名を鉛筆で書いて下さい。（号だけでは審査減点）

コピー手本（規定①②、随意、臨書、かな①②③、実用書、細字の9種セット）ご希望の方は350円で御送りします。

宅急便、ゆうパック、レターパックプラスでは受け取りが難しい為、
極力郵便かレターパックライトでの送付をお願い致します。

かな部課題

◎ 釈文
のはひふえほ まみむめも や



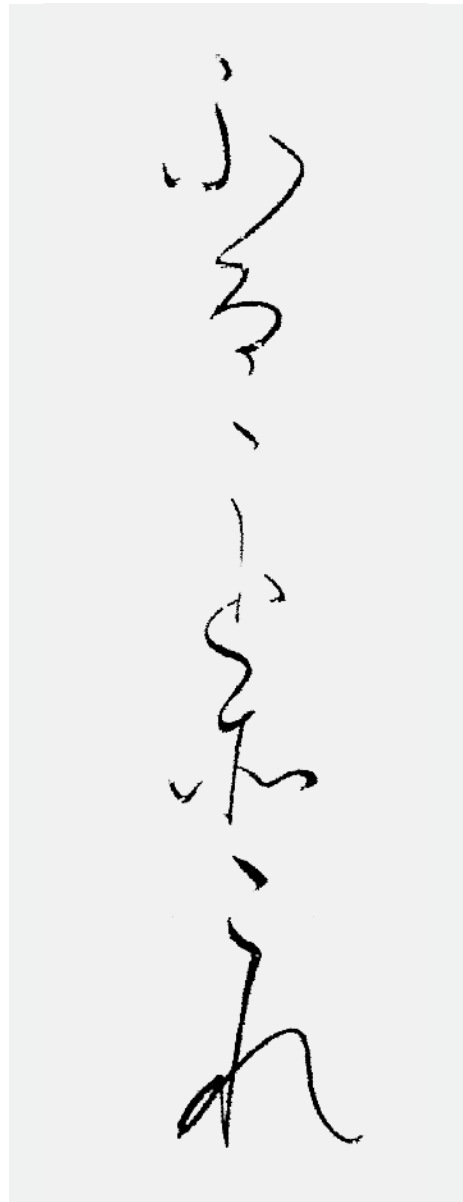
かな部

③

一級～十級まで一（半紙縦1/2）

辻 敬齋書

◎ 釈文
ふることぞこれ



かな部

② 高野切第三種

一三段から準初段まで一（半紙縦1/2）

● 11月25日締切（事務所必着）

4、5日早目にお送り下さい。（締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります）

かなの段級は漢字の段級とは異なりますのでご注意ください。

半紙作品の左側に所属、段級、姓号または姓名を鉛筆で書いて下さい。（号だけでは審査減点）

コピー手本（規定①②、随意、臨書、かな①②③、実用書、細字の9種セット）ご希望の方は350円で御送りします。

作品の段級は、段位は「漢数字」、
級位は「算用数字」で書いてください。

学 生 部 硬 筆 課 題

中学二・三年

中学一年

小学六年

小学五年

小学四年

かつて、伊澤清詩先生が「歴史の流れを把握して書く」により、さらに古典の名語の理解を深める「かぎ書き」とおっしゃっていました。中国書道史略年表を掲載いたしますので、参考にして下さい。

小笠原諸島は、独自の進化を遂げた動植物が多数生息することから、東洋のガラパゴスと呼ばれている。

文化祭の掲示物を書いた。毛筆と硬筆とを使い分けて、読みやすく仕上げた。

イルカが大好きです。大人になったら、水族館の飼育員になりたい。

先生から、お手本が配られた。今月はどんな課題を書くのかな。

左右の手をいろいろと組み合わせ、かげ絵をして遊びました。

辻 いづみ 書

● 11月25日締切（事務所必着） 4、5日早目に御送り下さい。（締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります）
※検定用紙を使用して下さい。検定用紙（50枚230円・送料別）は事務所までご請求下さい。
段級改正に伴い、準初段からは写真版になっても昇段いたしません。○または昇格試験によっての昇段となります。

（手本は182%に拡大すると用紙の大きさになります）

年代	前1000	前500	前200	紀元前	紀元後	新	後漢	三國（魏・呉・蜀）	西晋	東晋	五胡十六国
殷	西周	春秋・戦国	秦	前漢	後漢	魏	蜀	呉	西晋	東晋	五胡十六国

学 生 部 硬 筆 課 題

幼年

小学 1 年

小学 2 年

小学3年

作品の段級は、段位は「漢数字」、級位は「算用数字」で書いてください。

宅急便、ゆうパック、レターパックプラスでは受け取りが難しい為、極力郵便かレターパックライトでの送付をお願いします。

ら	ぞ
く	う
だ	さ
	い

	ま	ハ	
	す	ム	わ
		ス	た
		タ	し
		ー	の
		を	い
		か	え
		っ	で
		て	は
		い	、

	き	が	
	ま		赤
	す	小	や
		川	き
		を	い
		な	ろ
		が	の
		れ	木
		て	の
		い	は

	し	の	
	ま	は	今
	す	ん	週
		が	は
		台	
		ふ	わ
		き	た
		当	し
		番	た
		を	ち

辻
い
づ
み
書

(手本は 200%に拡大すると用紙の大きさになります)

● 11 月 25 日締切（事務所必着） 4、5 日早目に御送り下さい。（締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります）

※検定用紙を使用して下さい。検定用紙（50 枚 230円・送料別）は事務所までご請求下さい。

段級改正に伴い、準初段からは写真版になっても昇段いたしません。○または昇格試験によつての昇段となります。

中 学 1 年

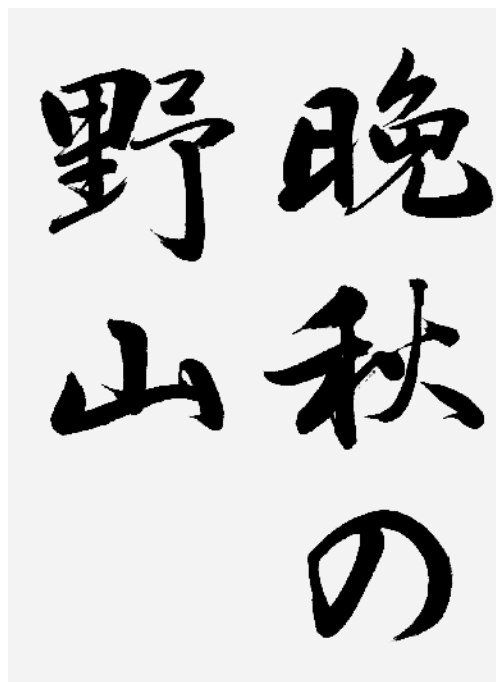
中学 2 ・ 3 年



(校 内 放 送)

辻 敬齋 書

小 学 5 年



(晩 秋 の 野 山)

辻 敬齋 書

小 学 6 年



(月 と 地 球)

岩田 紀風先生書



(満 天 の 星)

岡田 貴桜先生書

○段級改正に伴い、準初段からは写真版になっても昇段いたしません。○、㊦または昇格試験によつての昇段となります。
○作品には必ず所属、段級、氏名をはっきり書いて下さい。

宅急便、ゆうパック、レターパックプラスでは受け取りが難しい為、極力郵便かレターパックライトでの送付をお願い致します。

●11月25日締切（事務所必着）
4、5日早目に御送り下さい。（締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります）

1000	900	800
五 代 十 国		唐

小 学 3 年

小 学 4 年

※段級における「準」を書くことが難しい場合は、「じゅん」または「じ」として下さい。(例 じゅん五、じ五)
○作品には必ず所属、段級、氏名をはっきり書いて下さい。



(夜 ゑ ら) 石井 春秀先生 書

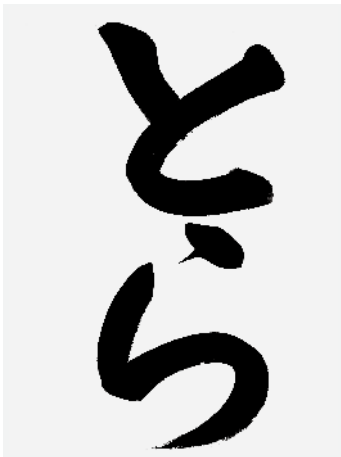


(本 を 読 む) 小玉 幸桜先生書

幼 年

小 学 1 年

小 学 2 年



(と ら)

辻 いづみ 書



(き く)

日比野妃扇先生 書



(き の み)

川口 麗洋先生 書

【作品送付の際のお願い】 事務所へ作品送付の際は、必ず封筒に「〇月号競書」、「昇格試験作品」と朱書きするようにお願いいたします。競書作品の中に昇格試験作品を入れること、またその逆も避けてください。御協力の程をお願いいたします。

● 11 月 25 日締切 (事務所必着)

4、5 日早目に御送り下さい。(締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります)

1900		1800		1700		1600		1500		1400		1300		1200		1100	
中華人民共和國 (台灣)	吳昌碩	清		鄧石如		王鐸	明		元				宋		米芾		

成家作品

庭戸蕭條燕雀喧日高
窓下枕書眠

杜荀鶴詩 翠珠書

景山 翠珠

帝篋中懷素帖為乃長安李氏之物
王起鄒薛道祖克便嘗之李歸黃
氏者也帝歸于任道家二年揚州雅芳

榛澤 雅芳

晴窗一鶴排雲上便
引詩情到碧霄

栗山 谿邑

修辭成雅日今在
月末尚書事起

石井 春秀

牆輝水中塲垣
隨風飛舞

中山 白堂

張抱一公稱松象湖亭
為酒海池對烟江

松浦 翠榮

庭中芳華官序清生
拙劣名實演而捨舟

今橋 知鄒

君之學子下者多也
松浦翠榮

竹内 一

廣中曉露如第玉樹當
竹内一

辻 いづみ

白蓮の
あまの
静かなる

榛澤 雅芳

延頸看
頃皓

中村 暁雲

以養也
循波南

石井 春秀

早庚
素養

今橋 知鄒

竹内 一

竹内 一

醉蕭然
辻 いづみ

辻 いづみ

参与作品

君諱貞字羽真勃海脩人
也其先盖帝炎氏之裔也
觀志流神三奇靈閑暇無事
心太平常存玉房視明達時
念大倉不飢渴黃庭經瑞堂臨

福原 瑞堂 赤嶺 心峰

晉明帝
太寧
資福垂拱而治八
荒德被黔黎敘往
不朝為國恩加朽
骨石室歸貞苦之
赤嶺心峰

福原 瑞堂 赤嶺 心峰

教範作品

池魚車故留
不異意潘公云司未得
上四之字如小奴打
素塵心近幽清光回孤城
返照深修於竹
入因生涯付一杯橫風
多景夢應似程王
何處難遊雲雨
才盡難題句
升外煙浮便煮茶草
邊風暖底眠沙

真榮城芳紅 山中 京翠 荒川 清舟 袖山 真翠 日下 禮子 千葉 龍亭

正年不
入手一旦
舉李廉
七年
接艇子
真似刺
如初三
偶既射
愚區
庸鄙

真榮城芳紅 山中 京翠 荒川 清舟 袖山 真翠 日下 禮子

参事作品

秋風吹落
木樨花
柳絮
春翠

貝沼 春翠 益子 睦架

三集
用貫
益子 睦架

貝沼 春翠 益子 睦架

天成地安積石為山
潤洽萬里人賴
晴窗一鶴排雲上便
引詩情到碧雲
春收萬寶決去就也
聲斜陽動石松將
為柳搖飲太平庵
秋風吹落木樨花
柳絮

大津 桂風 佐藤 祥玉 豐崎 峰彩 千葉 春苑 川又 月華 岡田 貴桜

河之古
逢兒
報汝慎
勿語
備爵所
以尊先
三集
用貫

大津 桂風 佐藤 祥玉 豐崎 峰彩 千葉 春苑 川又 月華 岡田 貴桜

本會同人条幅・半紙参考作品

晴窗一鶴排雲上便
引詩情到碧霄

小玉 幸桜

北平陽氏父環御史
中丞父景仲州

岩田 紀風

天成地安積石為山
潤洽萬里人賴

小古瀬修山

掌領禮器出酒直他
如故事臣雄臣

佐藤 蒼流

從政存以甘棠去而益詠
從政存以甘棠去而益詠

川越 翠蓉

雲引慈
業引慈

儀保 芳嶽

觀市
歸市

桑原 令慧

晴窗一鶴排雲上便
引詩情到碧霄

小玉 幸桜

晴窗一鶴排雲上便
引詩情到碧霄

岩田 紀風

天成地安積石為山
潤洽萬里人賴

小古瀬修山

掌領禮器出酒直他
如故事臣雄臣

佐藤 蒼流

從政存以甘棠去而益詠
從政存以甘棠去而益詠

川越 翠蓉

雲引慈
業引慈

儀保 芳嶽

觀市
歸市

桑原 令慧

晴窗一鶴排雲上便
引詩情到碧霄

八文字聖媛

晴窗一鶴排雲上便
引詩情到碧霄

渡部 翔風

天成地安積石為山
潤洽萬里人賴

川口 麗洋

天成地安積石為山
潤洽萬里人賴

山田 安里

還師振旅諸國禮且
二百走以導官

小林 瑞幸

還師振旅諸國禮且
二百走以導官

小林 瑞幸

還師振旅諸國禮且
二百走以導官

岡山 素洞

晴窗一鶴排雲上便
引詩情到碧霄

八文字聖媛

晴窗一鶴排雲上便
引詩情到碧霄

渡部 翔風

天成地安積石為山
潤洽萬里人賴

川口 麗洋

天成地安積石為山
潤洽萬里人賴

山田 安里

還師振旅諸國禮且
二百走以導官

小林 瑞幸

還師振旅諸國禮且
二百走以導官

小林 瑞幸

還師振旅諸國禮且
二百走以導官

岡山 素洞

本會審查會員 条幅・半紙作品

晴空一鶴排雲上便
引詩情到碧霄清翠

竹島 清翠

晴空一鶴排雲上便
引詩情到碧霄誠喜

清水 誠喜

晴空一鶴排雲上便
引詩情到碧霄正裕

塩原 正裕

北平陽氏父璆御史
中丞父景仲州陽江

小室 陽江

北平陽氏父璆御史
中丞父景仲州清香

大森 清香

あつりおのりきりきりきりきり
きりきりきりきりきりきりきり

富田 晶湖

晴空一鶴排雲上便
引詩情到碧霄雲泉

渡部 雲泉

響員
粵聖燦

森 聖燦

蜀空
麗象開清翠

竹島 清翠

遙見
山之古誠喜

清水 誠喜

更落
秋華掃正裕

塩原 正裕

蜀空
麗象開陽江

小室 陽江

新飲河
止滿度清香

大森 清香

寄惠悲
威哉宙美翠

土田 美翠

宇三畫
異敷晶湖

富田 晶湖

宇三畫
異敷雲泉

渡部 雲泉

天成地安積石為山
潤洽萬里人賴里彩

平山 里彩

晴空一鶴排雲上便
引詩情到碧霄雪華

根本 雪華

晴空一鶴排雲上便
引詩情到碧霄申弥

鈴木 申弥

晴空一鶴排雲上便
引詩情到碧霄里奈

江幡 里奈

晴空一鶴排雲上便
引詩情到碧霄清華

田村 清華

市川菊池依晴書
中丞父景仲州旭翠

貴島 旭翠

晴空一鶴排雲上便
引詩情到碧霄幸玉

森田 幸玉

晴空一鶴排雲上便
引詩情到碧霄由翠

熊田 由翠

晴空一鶴排雲上便
引詩情到碧霄朋齋

近藤 朋齋

其
其里彩

平山 里彩

穢可
滌蕩瑕雪華

根本 雪華

蜀空
麗象開申弥

鈴木 申弥

穢可
滌蕩瑕里奈

江幡 里奈

穢可
滌蕩瑕清華

田村 清華

蜀空
麗象開幸玉

森田 幸玉

蜀空
麗象開旭翠

貴島 旭翠

蜀空
麗象開由翠

熊田 由翠

蜀空
麗象開朋齋

近藤 朋齋

辻 敬齋 寸評

晴窓一鶴排雲上便
引詩情到碧霄

(師範) 林 泰邦
字幅をスマートにして行間を爽やかに通した快作。古典の香りのする堂々たる書風。

北平陽氏父環御史
中丞父景仲州

英子臨

(師範) 七加家英子
六朝楷書の字形の特徴をよく捉えている。線も強く、構成も良い。

晴窓一鶴排雲上便
引詩情到碧霄

風香

(師範) 石井 風香
線の潤渾・太細の変化があつて魅力的な作品となった。作品中央部の字幅が広いのでやや狭くしてはどうか。

選 《条幅部》

天成地安積石為山
潤洽萬里人賴

邑和臨

(師範) 倉田 邑和
線がふくよかで、楊峴の隸書の特徴がよく表現されている。隸法もよく得て秀逸。

晴窓一鶴排雲上便
引詩情到碧霄

東鴻書

(師範) 坂上 東鴻
例月のようにキレのある線と安定した構成で圧巻の作。

晴窓一鶴排雲上便
引詩情到碧霄

(師範) 松村千恵子
運筆の緩急が際立ち、古典に立脚した字形とも相俟って抜群の輝きを放っており、品格の高い作となった。

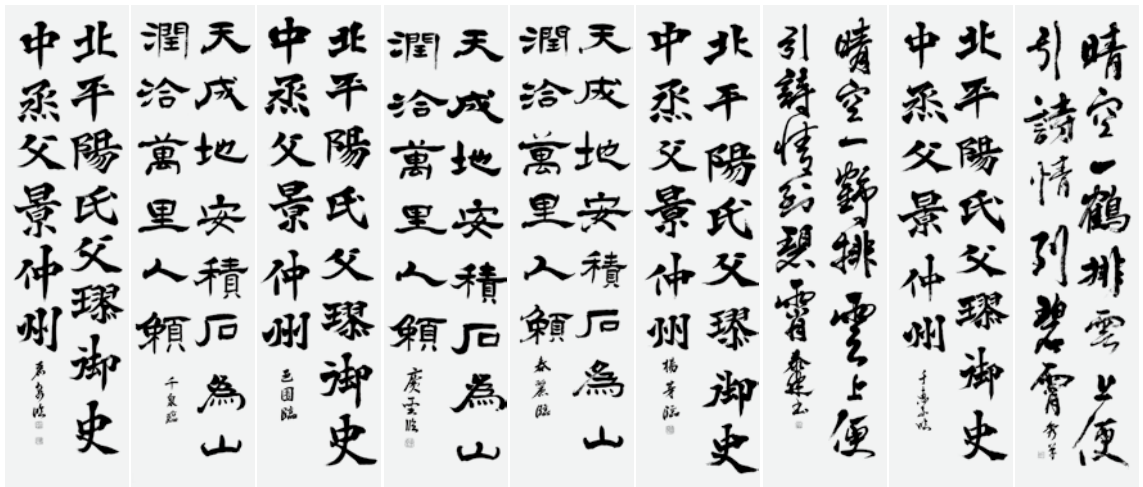
晴窓一鶴排雲上便
引詩情到碧霄

(師範) 岩田 紀風
行と文字に振幅をつけて行間の変化を表現した作。文字も懐広く雄大な印象。

晴窓一鶴排雲上便
引詩情到碧霄

(師範) 平野 由美
前者と比して行の振幅を抑え、行間の美しさを表現している。墨色も潤渾をうまく織り交せて美しい。

第870回 条幅部当選作品



(師範) 西岡 麗泉 (師範) 石岡 千泉 (師範) 藤浦 邑園 (師範) 瀧澤 廣聖 (師範) 岡野 春麗 (師範) 鈴木 楊芽 (師範) 林 泰健 (師範) 松村千恵子 (師範) 加藤 秀草



(師格) 鈴木真佐子 (師格) 比屋定輝子 (師範) 阿内 春美 (師範) 花輪 美翠 (師範) 永田 翠麗 (師範) 高良つぐみ (師範) 土屋 紫陽 (師範) 三留 優季 (師範) 高島 清順



(六段) 篠崎みゆき (七段) 佐藤 翠瑛 (七段) 土屋 健美 (八段) 神谷 武史 (八段) 久保田大貴 (準師) 西野 侑里 (準師) 川口 純恵 (準師) 武藤 清華 (師格) 長山 真

第870回 条幅部当選作品

(準初) 丹羽 琉花	(初段) 原田 厚子	(初段) 安村 泰愷	(準二) 金子 泰華	(二段) 瀧口 浩子	(三段) 塩畑あさ子	(五段) 相澤 美紀	(五段) 中村 恭代	(六段) 半村 啓子

〈かな部〉

(準師) 安藤 りん	(準師) 岡田 貴桜	(準師) 中川 優子	(師格) 鈴木真佐子	(師格) 勝山 草苑	(師格) 阿部 誠子	(師範) 深田 翠笑	(師範) 杉村万里子	(師範) 林 泰邦

(三段) 當眞 栄子	(準四) 金子 泰華	(四段) 瀧澤 廣聖	(五段) 皆越ゆかり	(六段) 小倉 敦子	(七段) 本城 吉子	(七段) 野崎 裕紀	(七段) 野崎 優子	(八段) 縣 礼子

特

選

穢可
滌蕩瑕
白山
師格 新井悟美

穢可
滌蕩瑕
一乃會
師 西岡麗泉

穢可
滌蕩瑕
筆泉
師 倉田邑和

穢可
滌蕩瑕

長月 白露 秋分
残暑が厳しい、雷雨や
台風なども多く、天候も荒れ
やす、月、夜長月が由來。
筆泉 師 倉田邑和

畠空
北斗、八段、小澤奈々海

畠空
真翠 師格 長山 真

畠空
北斗 師 岡野春麗

(準師)武藤 清華
(師範)倉田 邑和

(師格)新井 悟美
(八段)小澤奈々海

(師範)西岡 麗泉
(師格)長山 真

(師範)倉田 邑和
(師範)岡野 春麗

長月 白露 秋分
残暑が厳しい、雷雨や
台風なども多く、天候も荒れ
やす、月、夜長月が由來。
翠 師 貝沼春翠

海之古
白、海、新井悟美

海之古
一乃會 師 西岡麗泉

海之古

如有人身如須彌山王於
意云何是身為大不須苦
真子 師 益子 睦 兼
如有人身如須彌山王於
意云何是身為大不須苦
香春師格 松本きよ

あいうえおか
きくけこさし
かきくけこさし

かきくけこさし

かきくけこさし

(師範)貝沼 春翠
(師格)松本きよ (師範)益子睦

(七段)福田 隆代
(3級)関田香珠 (三段)林 宗弘

(師格)新井 悟美
(七段)勝野 玲子

(師範)西岡 麗泉
(師範)松村千恵子

秀

作

〈規定部〉

仁 師 鈴木楊芽	滌蕩瑕 穢可	泉心 師 七加家英子	滌蕩瑕 穢可	あす 師 井原胡祥	滌蕩瑕 穢可	聖心 師 酒井翠樹	滌蕩瑕 穢可	天風 師 阿内春美	滌蕩瑕 穢可	一乃會 野崎裕紀	滌蕩瑕 穢可
東京 師 樽見正庫	滌蕩瑕 穢可	沖純師 島尻英子	滌蕩瑕 穢可	香春 師 國富翔玉	滌蕩瑕 穢可	妃島 師範 長谷川鳳聲	滌蕩瑕 穢可	菰野 師 香川翠櫻	滌蕩瑕 穢可	豊里 師 加藤寿泉	滌蕩瑕 穢可
第八段 小塚登志	滌蕩瑕 穢可	八木 八段 溝口祐翠	滌蕩瑕 穢可	北斗 準師 佐藤晴美	滌蕩瑕 穢可	第幾 師格 鈴木真佐子	滌蕩瑕 穢可	聖心師格 葛野宏成	滌蕩瑕 穢可	真碧 師格 長山真	滌蕩瑕 穢可
(師範)鈴木 楊芽 (師格)樽見 正庫 (八段)小塚 登志		(師範)七加家英子 (師範)島尻 英子 (八段)溝口 祐翠		(師範)井原 胡祥 (師範)國富 翔玉 (準師)佐藤 晴美		(師範)酒井 翠樹 (師範)長谷川鳳聲 (師格)鈴木真佐子		(師範)阿内 春美 (師範)香川 翠櫻 (師格)葛野 宏成		(師範)野崎 裕紀 (師範)加藤 寿泉 (師格)長山 真	

北斗 七段 山口裕加	滌蕩瑕 穢可	南部八段 神谷武史	滌蕩瑕 穢可	泉心八段 高柿孝泉	滌蕩瑕 穢可	清風八段 小川淳子	滌蕩瑕 穢可	白土八段 白土礼子	滌蕩瑕 穢可	北斗八段 小澤奈々海	滌蕩瑕 穢可
廣 明五 栗原一美	滌蕩瑕 穢可	北 斗五 中村泰代	滌蕩瑕 穢可	葵 陵五 段下智陽育	滌蕩瑕 穢可	文真六段 半村啓子	滌蕩瑕 穢可	いづみ 鈴木千智	滌蕩瑕 穢可	白山七段 西本睦	滌蕩瑕 穢可
銀座四 櫻井千明	滌蕩瑕 穢可	銀座四 與澤智佳	滌蕩瑕 穢可	仁 四段 中島和奏	滌蕩瑕 穢可	いづみ 佐々木陽由	滌蕩瑕 穢可	廣明五 中山そら	滌蕩瑕 穢可	翠 五段 神谷節子	滌蕩瑕 穢可
(七段)山口 裕加 (五段)栗原 一美 (四段)櫻井 千明		(八段)神谷 武史 (五段)中村 泰代 (四段)與澤 智佳		(八段)高柿 孝泉 (五段)下和田陽育 (四段)中島 和奏		(八段)小川 淳子 (六段)半村 啓子 (四段)佐々木陽由		(八段)白土 礼子 (七段)鈴木 千智 (五段)中山 そら		(八段)小澤奈々海 (七段)西本 睦 (五段)神谷 節子	

秀

作

〈規定部〉

紀三 佐藤 唯 穢可 滌蕩瑕	聖心 三段 長島 暁子 穢可 滌蕩瑕	葵陵 三段 吹野 心優 穢可 滌蕩瑕	葵陵 三段 荻沼 真央 穢可 滌蕩瑕	いづみ 準四段 宮本 桜希 穢可 滌蕩瑕	いづみ 浅野 華鈴 穢可 滌蕩瑕
葵陵 二段 小松崎 凛菜 穢可 滌蕩瑕	葵陵 二段 大畠 雅実 穢可 滌蕩瑕	葵陵 準三段 稲山 彩音 穢可 滌蕩瑕	葵陵 準三段 高久 有愛 穢可 滌蕩瑕	廣明 三段 柳橋 幸果 穢可 滌蕩瑕	いづみ 二段 長谷川 恵子 穢可 滌蕩瑕
瑞東 二段 会沢 春穀 穢可 滌蕩瑕	仁 二段 小野 渚紗 穢可 滌蕩瑕	金二 二段 瀧口 浩子 穢可 滌蕩瑕	ゆ 大森 珠代 穢可 滌蕩瑕	ゆ 渡辺 文香 穢可 滌蕩瑕	いづみ 二段 藤枝 則子 穢可 滌蕩瑕
(三段) 佐藤 唯 (二段) 小松崎 凛菜 (二段) 会沢 春穀	(三段) 長島 暁子 (二段) 大畠 雅実 (二段) 小野 渚紗	(三段) 吹野 心優 (準三) 稲山 彩音 (二段) 瀧口 浩子	(三段) 荻沼 真央 (準三) 高久 有愛 (二段) 大森 珠代	(準四) 宮本 桜希 (三段) 柳橋 幸果 (二段) 渡辺 文香	(準四) 浅野 華鈴 (三段) 長谷川 恵子 (二段) 藤枝 則子
筑波 初段 勝又 瑞姬 穢可 滌蕩瑕	幸久 初 大内 君枝 穢可 滌蕩瑕	美玉 初 北村 玲乃 穢可 滌蕩瑕	葵陵 初 立原 璃音 穢可 滌蕩瑕	いづみ 初 青木 和子 穢可 滌蕩瑕	聖心 準二段 有松 瑞香 穢可 滌蕩瑕
廣明 5 鍵山 和美 更落 林花掃	羽 準初段 菅野 紗奈 穢可 滌蕩瑕	いづみ 佐々木 葵奈 穢可 滌蕩瑕	筆泉 初段 高橋 雅子 穢可 滌蕩瑕	東海 初 田川 光雲 穢可 滌蕩瑕	葵陵 初 四倉 姫奈 穢可 滌蕩瑕
旭岳 7 坂口 雅恵 更落 林花掃	翠華 9 級 山田 典子 更落 林花掃	聖心 九 小宮 慶子 更落 林花掃	いづみ 原 千種 更落 林花掃	聖心 七 級 小堺 紀子 更落 林花掃	如石 今安 聖代 更落 林花掃
(初段) 勝又 瑞姬 (4 級) 鍵山 和美 (8 級) 坂口 雅恵	(初段) 大内 君枝 (準初) 菅野 紗奈 (8 級) 山田 典子	(初段) 北村 玲乃 (初段) 佐々木 葵奈 (8 級) 小宮 慶子	(初段) 立原 璃音 (初段) 高橋 雅子 (8 級) 原 千種	(初段) 青木 和子 (初段) 田川 光雲 (6 級) 小堺 紀子	(準二) 有松 瑞香 (初段) 四倉 姫奈 (5 級) 今安 聖代

秀

作

〈随意部〉

更落 林華掃 更落 面空 面空 面空 (師範) 杉村 万里子 (準師) 武藤 清華 (五段) 中村 恭代	更落 林華掃 更落 面空 面空 面空 (師範) 石井 風香 (師格) 樽見 正庫 (五段) 下和田 陽育	更落 林華掃 更落 面空 面空 面空 (師範) 川口 洋子 (師格) 新井 悟美 (六段) 篠崎 みゆき	更落 林華掃 更落 面空 面空 面空 (師範) 加藤 寿泉 (師格) 鈴木 真佐子 (七段) 福田 隆代	更落 林華掃 更落 面空 面空 面空 (師範) 西岡 麗泉 (師範) 永田 翠麗 (七段) 西本 睦	更落 林華掃 更落 面空 面空 面空 (師範) 岩永 邑静 (師範) 小澤 谿遼 (八段) 津守 悠子
--	--	--	--	--	---

更落 林華掃 更落 面空 面空 面空 (三段) 吹野 心優 (初段) 北村 玲乃 (九級) 今井 節子	更落 林華掃 更落 面空 面空 面空 (準四) 浅野 華鈴 (二級) 小野 渚紗 (八級) 山田 典子	更落 林華掃 更落 面空 面空 面空 (四段) 與澤 智佳 (二級) 工藤 幹子 (四級) 鍵山 和美	更落 林華掃 更落 面空 面空 面空 (四段) 櫻井 千明 (二級) 藤枝 則子 (準初) 渡辺 華世子	更落 林華掃 更落 面空 面空 面空 (五段) 神谷 節子 (準三) 稲山 彩音 (準初) 小澤 由季	更落 林華掃 更落 面空 面空 面空 (五段) 栗原 一美 (三段) 長谷川 恵子 (初段) 大内 君枝
---	---	---	--	---	--

秀

作

〈臨書部〉



(師範) 苗 瑞蓮 (師範) 加藤 寿泉 (師範) 岩永 呂静 (師範) 七加 英子 (師範) 岡野 春麗 (師範) 倉田 邑和
(準師) 鈴木 栄緒 (師格) 長山 真真 (師格) 樽見 正庫 (師格) 葛野 宏成 (師範) 石井 風香
(四段) 櫻井 千明 (五段) 神谷 節子 (五段) 相澤 美紀 (五段) 中村 恭代 (六段) 半村 啓子 (八段) 小澤 奈々海



(二段) 渡辺 文香 (準三) 高橋 道子 (三段) 荻沼 真央 (三段) 柳橋 幸果 (準四) 飯嶋 伸子 (四段) 佐々木 陽由
(準初) 渡辺 華世子 (初段) 北村 玲乃 (初段) 青木 和子 (初段) 立原 小堺 (準二) 平山 穂乃花 (二段) 大畠 雛実
(9級) 今井 節子 (8級) 原 千種 (8級) 小見 裕子 (6級) 北見 君子 (準初) 小澤 由季

〈実用書〉

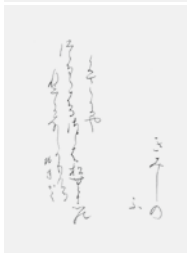
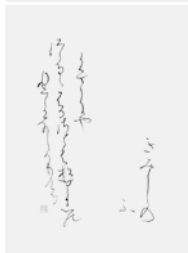
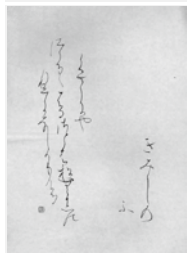
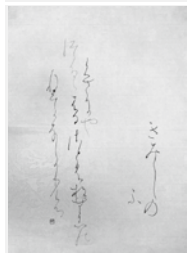
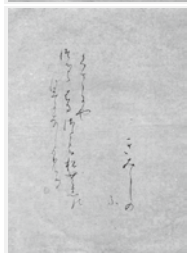
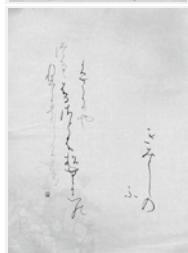
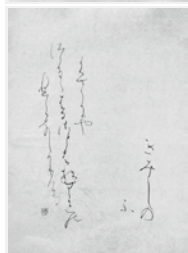
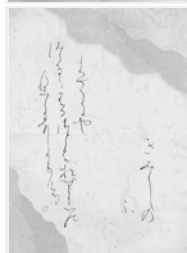
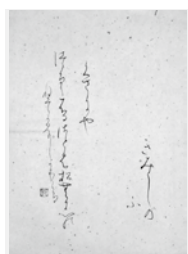
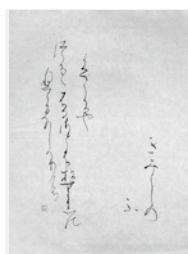
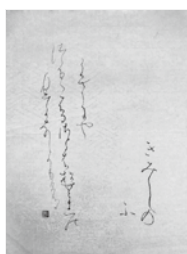
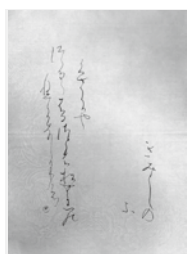
〈細字部〉

(4級)根本雪華(準初)井崎草苑(準初)川口洋子(準初)高橋道子(初段)鈴木申弥(二段)小川邑花(準三)花園清遠(三段)酒井翠樹(三段)佐藤蒼流(四段)平山里彩(準五)小玉幸桜(五段)勝山草苑

秀

作

〈仮名部〉



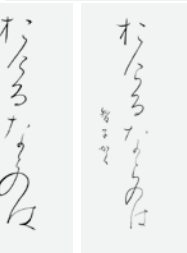
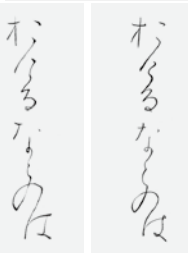
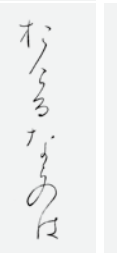
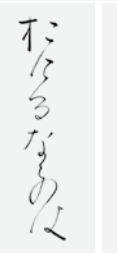
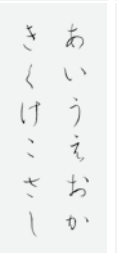
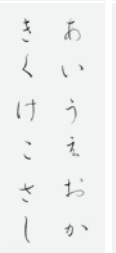
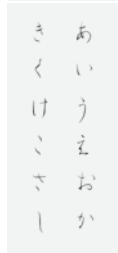
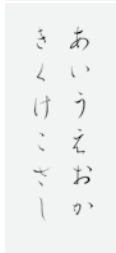
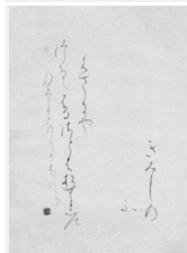
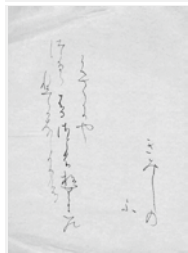
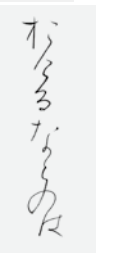
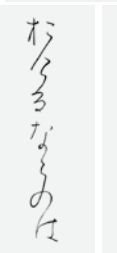
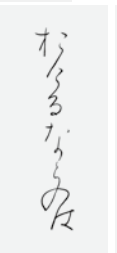
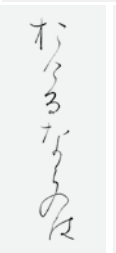
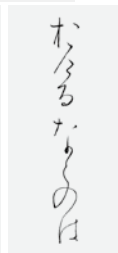
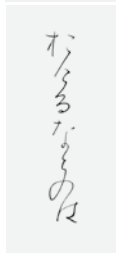
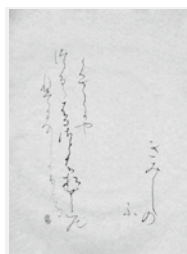
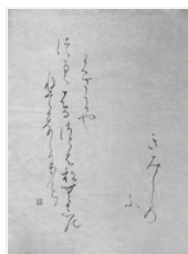
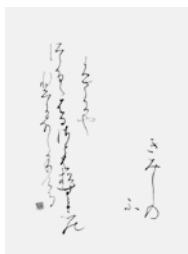
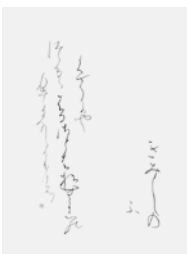
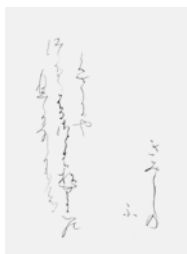
(師格)阿部 誠子
(八段)縣 礼子
(五段)博多 晃子

(師範)高島 清順
(八段)別府 円香
(五段)天河ふさ子

(師範)田中 明子
(準師)中川 優子
(六段)小倉 敦子

(師範)林 泰邦
(準師)安藤 りん
(七段)豊崎 峰彩

(師範)平野 由美
(師格)鈴木真佐子
(八段)小林 瑞幸



(四段)今井 陽子
(初段)鈴木中弥
(7級)小見裕子

(四段)西島 玲子
(二段)熊田由翠
(1級)中山直子

(五段)貴島 旭翠
(二段)岡野春麗
(準初)小川裕樹

(五段)阿内 春美
(準四)藤原美也子
(準初)山本育代

(五段)川口 洋子
(四段)鈴木 玲子
(準初)渡辺文香
(準初)川西智子

秀

作

〈ペン字随意部〉

〈ペン字規定部〉

虫の音に耳を澄ませるたび
季節の移ろいの美しさを感
じます。どうぞお健やかに。
要筆 師格 川越 美穂

(師格)
川越 美穂

虫の音に耳を澄ませるたび
季節の移ろいの美しさを感
じます。どうぞお健やかに。
要筆 師範 真栄城芳紅

(師範)
真栄城芳紅

虫の音に耳を澄ませるたび
季節の移ろいの美しさを感
じます。どうぞお健やかに。
要筆 師範 武田 翠波

(師範)
武田 翠波

虫の音に耳を澄ませるたび
季節の移ろいの美しさを感
じます。どうぞお健やかに。
要筆 師範 豊崎 峰彩

(師範)
豊崎 峰彩

和敬清寂 一意専心
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
要筆 師格 杉山 翠萌

(師格)
杉山 翠萌

和敬清寂 一意専心
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
要筆 師格 石井 風香

(師格)
石井 風香

和敬清寂 一意専心
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
要筆 師範 大津 桂風

(師範)
大津 桂風

和敬清寂 一意専心
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
要筆 師範 原 聖麗

(師範)
原 聖麗

和敬清寂 一意専心
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
要筆 師範 岡田 貴桜

(師範)
岡田 貴桜

虫の音に耳を澄ませるたび
季節の移ろいの美しさを感
じます。どうぞお健やかに。
ゆ 七段 八文字 聖媛

(七段)
八文字 聖媛

虫の音に耳を澄ませるたび
季節の移ろいの美しさを感
じます。どうぞお健やかに。
ゆ 七段 鈴木 申弥

(七段)
鈴木 申弥

虫の音に耳を澄ませるたび
季節の移ろいの美しさを感
じます。どうぞお健やかに。
ゆ 八段 柿沼 洋菜

(八段)
柿沼 洋菜

虫の音に耳を澄ませるたび
季節の移ろいの美しさを感
じます。どうぞお健やかに。
ゆ 準師 奥田 朱麗

(準師)
奥田 朱麗

和敬清寂 一意専心
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
要筆 準五 山本 美奈

(準五)
山本 美奈

和敬清寂 一意専心
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
要筆 五段 福田 隆代

(五段)
福田 隆代

和敬清寂 一意専心
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
要筆 七段 八文字 聖媛

(七段)
八文字 聖媛

和敬清寂 一意専心
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
要筆 八段 柿沼 洋菜

(八段)
柿沼 洋菜

和敬清寂 一意専心
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
要筆 準師 鈴木 楊芽

(準師)
鈴木 楊芽

虫の音に耳を澄ませるたび
季節の移ろいの美しさを感
じます。どうぞお健やかに。
ゆ 準四 村岡 典子

(準四)
村岡 典子

虫の音に耳を澄ませるたび
季節の移ろいの美しさを感
じます。どうぞお健やかに。
ゆ 四段 鈴木 千智

(四段)
鈴木 千智

虫の音に耳を澄ませるたび
季節の移ろいの美しさを感
じます。どうぞお健やかに。
ゆ 準五 山本 美奈

(準五)
山本 美奈

虫の音に耳を澄ませるたび
季節の移ろいの美しさを感
じます。どうぞお健やかに。
ゆ 五段 福田 隆代

(五段)
福田 隆代

和敬清寂 一意専心
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
要筆 準三 佐藤 唯

(準三)
佐藤 唯

和敬清寂 一意専心
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
要筆 三段 椎山 雅風

(三段)
椎山 雅風

和敬清寂 一意専心
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
要筆 三段 渡辺 文香

(三段)
渡辺 文香

和敬清寂 一意専心
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
要筆 準四 篠崎みゆき

(準四)
篠崎みゆき

和敬清寂 一意専心
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
要筆 四段 森 聖燦

(四段)
森 聖燦

虫の音に耳を澄ませるたび
季節の移ろいの美しさを感
じます。どうぞお健やかに。
ゆ 準二 小野 渚紗

(準二)
小野 渚紗

虫の音に耳を澄ませるたび
季節の移ろいの美しさを感
じます。どうぞお健やかに。
ゆ 二段 岡野 春麗

(二段)
岡野 春麗

虫の音に耳を澄ませるたび
季節の移ろいの美しさを感
じます。どうぞお健やかに。
ゆ 準三 佐藤 唯

(準三)
佐藤 唯

虫の音に耳を澄ませるたび
季節の移ろいの美しさを感
じます。どうぞお健やかに。
ゆ 三段 椎山 雅風

(三段)
椎山 雅風

和敬清寂 一意専心
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
要筆 初段 俵 由真

(初段)
俵 由真

和敬清寂 一意専心
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
要筆 初段 加藤 淳二

(初段)
加藤 淳二

和敬清寂 一意専心
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
要筆 初段 鈴木 理央

(初段)
鈴木 理央

和敬清寂 一意専心
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
要筆 準二 小野 渚紗

(準二)
小野 渚紗

和敬清寂 一意専心
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
要筆 二段 白土 礼子

(二段)
白土 礼子

虫の音に耳を澄ませるたび
季節の移ろいの美しさを感
じます。どうぞお健やかに。
ゆ 10級 石原 光珠

(10級)
石原 光珠

虫の音に耳を澄ませるたび
季節の移ろいの美しさを感
じます。どうぞお健やかに。
ゆ 4級 鍵山 和美

(4級)
鍵山 和美

虫の音に耳を澄ませるたび
季節の移ろいの美しさを感
じます。どうぞお健やかに。
ゆ 準初 栗原 友香

(準初)
栗原 友香

虫の音に耳を澄ませるたび
季節の移ろいの美しさを感
じます。どうぞお健やかに。
ゆ 初段 俵 由真

(初段)
俵 由真

和敬清寂 一意専心
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
要筆 9級 今井 節子

(9級)
今井 節子

和敬清寂 一意専心
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
要筆 5級 林 邦子

(5級)
林 邦子

和敬清寂 一意専心
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
要筆 準初 椎名 千梢

(準初)
椎名 千梢

和敬清寂 一意専心
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
要筆 準初 小澤 由季

(準初)
小澤 由季

和敬清寂 一意専心
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
秋高气爽 勇往邁進
要筆 準初 村上 由奈

(準初)
村上 由奈

特

選

金 八 段 菊池心美 英 安悠 月羽準四段 西村星那	急行列車 詩と音楽 公広園い	真 段 準十 戸川莉奈 美玉 準九段 植竹莉子 狭 四 加藤柚衣	急行列車 詩と音楽 公広園い	筑 特 石川愛梨 和心 準十 鈴木咲那 美玉 じたん 塚越蘭	急行列車 詩と音楽 公広園い	筑 波 特待 岡田美咲 仁十 長村汐音 紀準七 増田葉子	紅葉の季節 詩と音楽 公広園い	紀 特 村田彩空 づみ 飛田陽菜 仁八 杉本優衣花	紅葉の季節 詩と音楽 公広園い	狭 特 本橋愛南 美金 準特 岡村心菜 いづみ 黒澤蘭	紅葉の季節 詩と音楽 公広園い
---	----------------------	---	----------------------	--	----------------------	---	-----------------------	---	-----------------------	--	-----------------------

(八段)菊池 心美 (準八)安悠 (四段)西村 (準十)戸川 莉奈 (準九)植竹 (四段)加藤 (特待)石川 愛梨 (準十)鈴木 咲那 (準六)塚越 (特待)岡田 美咲 (十段)長村 汐音 (準七)増田 (特待)村田 彩空 (十段)飛田 陽菜 (八段)杉本 優衣花 (特待)本橋 愛南 (準特)岡村 心菜 (準九)黒澤 蘭

羽 準七 級 石下英華	学友ぶと ご虫か うた	狭 準一 山下莉子 金了 根本結衣 いづみ たかまうあ い	学友ぶと ご虫か こめ	会 初級 沢島ひな 長谷川結月 いまだ 田山おてけ	学友ぶと ご虫か りまつ	紀 四 中屋沙環 仁準一 金井菜穂 佐藤世奈	学友ぶと ご虫か りまつ	仁 四 永谷結花 こし 土肥文景 いとう 朱里	学友ぶと ご虫か りまつ	いづみ 橋実佑 いなだ 野田陽向 倉川由朱	学友ぶと ご虫か りまつ
----------------------	-------------------	--	-------------------	--	--------------------	---------------------------------------	--------------------	---	--------------------	-----------------------------------	--------------------

(7級)石下 英華 (準2級)倉川 実莉 (8級)園部 (準1級)山下 莉子 (準2級)根本 結衣 (4級)高松 (準二)沢島 ひな (2級)長谷川 結月 (準初)田山 吟花 (四段)中屋 沙環 (1級)金井 菜穂 (三段)佐藤 世奈 (四段)永谷 結花 (準四)土肥 蒼依 (三段)伊藤 朱里 (準七)橋 実佑 (準四)野田 陽向 (準四)倉川 由朱

第870回 当選作品

[illegible]

第870回 当選作品

[illegible]

第870回 当選作品

[illegible]

硬筆部 当選作品

祖父は、新潟で米作りをしています。今月末から稲刈りが始まるそうです。

筑波 特待 中二 岡田 美咲

祖父は、新潟で米作りをしています。今月末から稲刈りが始まるそうです。

いみ 準特 中二 佐々木 柊奈

祖父は、新潟で米作りをしています。今月末から稲刈りが始まるそうです。

いみ 準特 中二 上岡 晴香

祖父は、新潟で米作りをしています。今月末から稲刈りが始まるそうです。

金 八段 中二 井 羽 琉

祖父は、新潟で米作りをしています。今月末から稲刈りが始まるそうです。

金 準七段 中二 白井 美莉亜

祖父は、新潟で米作りをしています。今月末から稲刈りが始まるそうです。

狭 準七 中二 樽谷 ゆいな

祖父は、新潟で米作りをしています。今月末から稲刈りが始まるそうです。

金 六段 中二 久地 園里奈

祖父は、新潟で米作りをしています。今月末から稲刈りが始まるそうです。

山下 六段 中二 猿田 蘭

祖父は、新潟で米作りをしています。今月末から稲刈りが始まるそうです。

幸 準 中二 林 伊 涵

祖父は、新潟で米作りをしています。今月末から稲刈りが始まるそうです。

清 風 五 中二 高橋 佳子

祖父は、新潟で米作りをしています。今月末から稲刈りが始まるそうです。

狭 準五 中二 佐久間 雪乃

祖父は、新潟で米作りをしています。今月末から稲刈りが始まるそうです。

いみ 準四段 中二 亀井 川 優奈

祖父は、新潟で米作りをしています。今月末から稲刈りが始まるそうです。

いみ 準 中二 佐藤 彬 丈

祖父は、新潟で米作りをしています。今月末から稲刈りが始まるそうです。

早 川 二 段 中二 大高 陽葵

湖の水面に太陽の光が反射して、宝石のようにきらきらと輝いています。

仁 千 準特 中一 寺村 実 夏

湖の水面に太陽の光が反射して、宝石のようにきらきらと輝いています。

筑波 十 段 中一 岡野 帆乃 木

湖の水面に太陽の光が反射して、宝石のようにきらきらと輝いています。

仁 千 十 段 中一 川口 希

湖の水面に太陽の光が反射して、宝石のようにきらきらと輝いています。

仁 千 準十 中一 小野 瑚 桃

湖の水面に太陽の光が反射して、宝石のようにきらきらと輝いています。

仁 千 九 段 中一 梅原 陽 大

湖の水面に太陽の光が反射して、宝石のようにきらきらと輝いています。

いみ 準 中一 鳥山 紗 愛

湖の水面に太陽の光が反射して、宝石のようにきらきらと輝いています。

いみ 準 中一 箭原 栄 稟

湖の水面に太陽の光が反射して、宝石のようにきらきらと輝いています。

狭 七 中一 花山 絢 音

湖の水面に太陽の光が反射して、宝石のようにきらきらと輝いています。

彩 虹 準 六 段 中一 村 本 佳 穂

湖の水面に太陽の光が反射して、宝石のようにきらきらと輝いています。

いみ 準 中一 関根 怜 那

湖の水面に太陽の光が反射して、宝石のようにきらきらと輝いています。

山下 準 六 段 中一 菊池 颯 亮

湖の水面に太陽の光が反射して、宝石のようにきらきらと輝いています。

ゆ 二 段 中一 太 久 保 莉 真

湖の水面に太陽の光が反射して、宝石のようにきらきらと輝いています。

和 心 準十 六 鈴木 咲 那

湖の水面に太陽の光が反射して、宝石のようにきらきらと輝いています。

いみ 準 中一 井 川 や 香

湖の水面に太陽の光が反射して、宝石のようにきらきらと輝いています。

仁 千 八 段 中一 杉山 楓 佳

湖の水面に太陽の光が反射して、宝石のようにきらきらと輝いています。

美 玉 七 段 六 年 樋口 珠 莉

湖の水面に太陽の光が反射して、宝石のようにきらきらと輝いています。

和 心 準 六 段 中一 楠木 叶 柳

湖の水面に太陽の光が反射して、宝石のようにきらきらと輝いています。

ゆ 二 段 中一 佐藤 遙

湖の水面に太陽の光が反射して、宝石のようにきらきらと輝いています。

いみ 準 六 年 赤津 和 真

湖の水面に太陽の光が反射して、宝石のようにきらきらと輝いています。

いみ 準 六 年 井上 鈴 菜

湖の水面に太陽の光が反射して、宝石のようにきらきらと輝いています。

清 風 五 段 六 年 三浦 千 怜

湖の水面に太陽の光が反射して、宝石のようにきらきらと輝いています。

筑波 四 段 六 年 中田 晴 丈

湖の水面に太陽の光が反射して、宝石のようにきらきらと輝いています。

幸 準 四 六 年 松本 莞 士

湖の水面に太陽の光が反射して、宝石のようにきらきらと輝いています。

金 準 二 六 年 能勢 悠 花

湖の水面に太陽の光が反射して、宝石のようにきらきらと輝いています。

いみ 準 四 六 年 鈴木 奈 央 美

湖の水面に太陽の光が反射して、宝石のようにきらきらと輝いています。

和 心 二 六 年 咲 良

硬筆部当選作品

けんび鏡を使って、池や川にすむ小さな生き物を観察しました。

緑 準二 清水 蒼流

けんび鏡を使って、池や川にすむ小さな生き物を観察しました。

準初 六 立原 瑠人

けんび鏡を使って、池や川にすむ小さな生き物を観察しました。

狭一級 六年 齋藤 憲吾

けんび鏡を使って、池や川にすむ小さな生き物を観察しました。

緑 準二 大 川和 泰士

けんび鏡を使って、池や川にすむ小さな生き物を観察しました。

若草 七 六 木村 かな

けんび鏡を使って、池や川にすむ小さな生き物を観察しました。

いび 六年 儀間 日鞠

夕日がしずんで、虫の音が聞こえてきた。音楽会の始まりだね。

仁千 八段 五年 栗林 真緒

夕日がしずんで、虫の音が聞こえてきた。音楽会の始まりだね。

いび 準二 五年 箭原 杏音

夕日がしずんで、虫の音が聞こえてきた。音楽会の始まりだね。

和心 七段 五 森 采香

夕日がしずんで、虫の音が聞こえてきた。音楽会の始まりだね。

筑波 六段 五 山田 陽葵

夕日がしずんで、虫の音が聞こえてきた。音楽会の始まりだね。

森 準五 五 宮島 あおは

夕日がしずんで、虫の音が聞こえてきた。音楽会の始まりだね。

仁千 四段 五 小松 叶歩

夕日がしずんで、虫の音が聞こえてきた。音楽会の始まりだね。

いび 準四 五年 平 莉子

夕日がしずんで、虫の音が聞こえてきた。音楽会の始まりだね。

狭 三段 五年 加藤 柚衣

夕日がしずんで、虫の音が聞こえてきた。音楽会の始まりだね。

仁千 一 五 磯 帆夏

夕日がしずんで、虫の音が聞こえてきた。音楽会の始まりだね。

いび 準二 五 箕輪 百花

夕日がしずんで、虫の音が聞こえてきた。音楽会の始まりだね。

ゆ 五年 真 船由妃

夕日がしずんで、虫の音が聞こえてきた。音楽会の始まりだね。

清風 準三 五 風間 かえで

夕日がしずんで、虫の音が聞こえてきた。音楽会の始まりだね。

いび 準五 五 池戸 結衣奈

夕日がしずんで、虫の音が聞こえてきた。音楽会の始まりだね。

いび 準二 五 長本 夏葵

夕日がしずんで、虫の音が聞こえてきた。音楽会の始まりだね。

和心 準二 五 能 倉 侑星

夕日がしずんで、虫の音が聞こえてきた。音楽会の始まりだね。

狭 準七 五年 福田 なつ

夕日がしずんで、虫の音が聞こえてきた。音楽会の始まりだね。

羽 準九 五 西村 星那

夕日がしずんで、虫の音が聞こえてきた。音楽会の始まりだね。

いび 準二 五 稲田 華

夕日がしずんで、虫の音が聞こえてきた。音楽会の始まりだね。

いび 五 原 琴葉

夕日がしずんで、虫の音が聞こえてきた。音楽会の始まりだね。

広明 10 五 田尻 涼乃

太陽の光を木立がささぐり、林の中はひんやりとした感じがします。

いび 準二 四 小野寺 葉凜

太陽の光を木立がささぐり、林の中はひんやりとした感じがします。

いび 四年 島根 柚子

太陽の光を木立がささぐり、林の中はひんやりとした感じがします。

和心 四 四 伊藤 菜々実

太陽の光を木立がささぐり、林の中はひんやりとした感じがします。

金 五段 四年 岡部 陽菜乃

太陽の光を木立がささぐり、林の中はひんやりとした感じがします。

いび 四 四 小澤 良蘭

太陽の光を木立がささぐり、林の中はひんやりとした感じがします。

こ 初 四 劉 華恵

太陽の光を木立がささぐり、林の中はひんやりとした感じがします。

狭 準初 四年 紙田 心 和波

太陽の光を木立がささぐり、林の中はひんやりとした感じがします。

金 準一 四年 辛 島 杏側

太陽の光を木立がささぐり、林の中はひんやりとした感じがします。

清風 準二 四 高橋 めぐみ

太陽の光を木立がささぐり、林の中はひんやりとした感じがします。

いび 準二 四 半田 千翔

太陽の光を木立がささぐり、林の中はひんやりとした感じがします。

彩虹 準四 四 柳田 碧

太陽の光を木立がささぐり、林の中はひんやりとした感じがします。

おどり 五 四 せきね ゆな

太陽の光を木立がささぐり、林の中はひんやりとした感じがします。

若草 七 五 四 藺部 夏希

太陽の光を木立がささぐり、林の中はひんやりとした感じがします。

狭 六級 四年 樽谷 隼人

硬筆部當選作品

そらとツ

第八七〇回競書成績

二〇二六年
令和八年
十一月八号

○ 一階級昇格
● 一階級昇格
× 延着
△ 課題違い
□ サイズ違い

①かな部、ペン字部、実用書部、細字部の段級位は規定部とは別です。
②学生部の賞状を廃止します。太字は写真版掲載。太字でも昇級しないものは、一般部、学生部ともに有段者です。ただし、学生部の有段者が○・●のものは、一階級昇格とします。
③半紙部の落款に所属、段級、姓号(名)を記入しないと、写真は写真版から除外、付箋(出品券)のはつけない作品、審査後到着の作品等々は審査なく、後方に名前だけ掲載されます。

成家作品

条幅

成家

景山 雅芳 翠珠
松山 雅芳 翠珠
中井 雅芳 翠珠
今井 雅芳 翠珠
竹内 雅芳 翠珠

半紙

成家

橋本 雅芳 翠珠
石井 雅芳 翠珠
中井 雅芳 翠珠
今井 雅芳 翠珠
竹内 雅芳 翠珠

教範作品

条幅

教範

千葉 龍亭
日下 清輝
荒川 清輝
真城 清輝
岡田 清輝
川田 清輝
佐藤 清輝
大津 清輝

半紙

条幅

教範

景山 雅芳 翠珠
松山 雅芳 翠珠
中井 雅芳 翠珠
今井 雅芳 翠珠
竹内 雅芳 翠珠

半紙

成家

橋本 雅芳 翠珠
石井 雅芳 翠珠
中井 雅芳 翠珠
今井 雅芳 翠珠
竹内 雅芳 翠珠

教範作品

条幅

教範

千葉 龍亭
日下 清輝
荒川 清輝
真城 清輝
岡田 清輝
川田 清輝
佐藤 清輝
大津 清輝

同人作品

条幅

儀保 桑原
芳令 意

参与参事作品

条幅

参与

赤嶺 瑞堂
福原 瑞堂
益子 瑞堂
貝沼 瑞堂

半紙

条幅

参与

赤嶺 瑞堂
福原 瑞堂
益子 瑞堂
貝沼 瑞堂

条幅

儀保 桑原
芳令 意

半紙

条幅

審査員作品

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

半紙

条幅

審査員作品

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

半紙

条幅

審査員作品

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

半紙

条幅

審査員作品

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

半紙

条幅

審査員作品

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

半紙

条幅

審査員作品

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

半紙

条幅

審査員作品

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

半紙

条幅

審査員作品

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

半紙

条幅

審査員作品

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

半紙

条幅

審査員作品

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

半紙

条幅

審査員作品

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

半紙

条幅

審査員作品

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

半紙

条幅

審査員作品

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

半紙

条幅

審査員作品

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

半紙

条幅

審査員作品

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

半紙

条幅

審査員作品

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

半紙

条幅

審査員作品

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

半紙

条幅

審査員作品

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

半紙

条幅

審査員作品

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

半紙

条幅

審査員作品

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

半紙

条幅

審査員作品

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

半紙

条幅

審査員作品

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

条幅

[illegible]

令和八年度後期硬筆部昇格試験

成績発表表（昇格者のみ発表・順不同）

一般部									
▼第一部									
【師範合格】									
仁千 石井 風香	浄真 玉寄 芳志	彩虹 安達 智弘	若草 川合 七海	山下 猿田 蘭	ゆか 大森 友乃	仁千 川口 希金	仁千 尾鷲菜友加	いづ 井上 鈴菜	若草 益子 咲菜
蓉華 川越 美穂	いづ 河尾 凛々	いづ 酒井喜美代	仁千 小野 渚紗羽	いづ 遠藤 由唯	いづ 藤枝 愛菜	仁千 日吉 真備	紀風 柴田 歩果	いづ 萩谷 優心	紀風 増田 葉子
【師範格へ】									
朱桜 奥田 朱麗	いな 塩畑あさ子	津守 悠子	西野 侑里金	幸桜 林 伊涵	幸桜 孝 野上 佑櫻	仁千 杉山 楓佳	紀風 桐田 小森	羽桜 緑 川和 奏土	仁千 中島 圭都
仁千 鈴木 楊芽	仁千 高塚 陽太	大森 珠代	出居 葵実	幸桜 山口 一誠	仁千 梅原 陽大	仁千 上岡 和成金	紀風 朝陽 朝陽	和心 鴨志田悠人	紀風 伊藤 有希
宝 平山 里彩	ゆか 大森 珠代	ゆか 渡辺 文香	仁千 加藤 幸雅	【準五段へ】	緑 飛田明俊香	【準初段へ】	【準五段へ】	【準二級へ】	【準五段へ】
【準師範へ】	中山 恵子	いづ 小森ころ	蓉華 杉本 遥	河尾 蘭々	筑波 古田部紗彩	【七級へ】	【準十段へ】	【準四段へ】	【準四段へ】
朱桜 柿沼 洋菜	いづ 小森ころ	蓉華 今村 文音	後藤 瑛南	【準七級へ】	【準八級へ】	【準九級へ】	【準十級へ】	【準十一級へ】	【準十二級へ】
仁千 石本 健翔	【第三部】	【三段合格】	【二段合格】	【準二段へ】	【準三段へ】	【準四段へ】	【準五段へ】	【準六段へ】	【準七段へ】
幸桜 澤 知里	いづ 深谷 彩乃	いづ 岡崎ゆめか	いづ 荳司 有輝	【準四段へ】	【準五段へ】	【準六段へ】	【準七段へ】	【準八段へ】	【準九段へ】
仁千 川口 純恵	いづ 藤井 日和	いづ 杉山 香乃	【準特待へ】	【準特待へ】	【準特待へ】	【準特待へ】	【準特待へ】	【準特待へ】	【準特待へ】
ゆか 八文字聖媛	いづ 宮本 桜希	いづ 平山穂乃花	いづ 蒼空	【準特待へ】	【準特待へ】	【準特待へ】	【準特待へ】	【準特待へ】	【準特待へ】
蓉華 山村 真実	いづ 宮林 凛音	いづ 華音 華音	山本 百花	【準特待へ】	【準特待へ】	【準特待へ】	【準特待へ】	【準特待へ】	【準特待へ】
【七段へ】	いづ 佐々木陽由	幸桜 寺尾 順子	泰地 仁千 寺村 実夏	【準八段へ】	【準八段へ】	【準八段へ】	【準八段へ】	【準八段へ】	【準八段へ】
華音 福田 隆代	いづ 藤井 唯	紀風 前場 心遠	上岡 晴香	【準八段へ】	【準八段へ】	【準八段へ】	【準八段へ】	【準八段へ】	【準八段へ】
【六段へ】	紀風 西村 莉奈	紀風 岡田明里咲	幸桜 合田 陽菜	【準八段へ】	【準八段へ】	【準八段へ】	【準八段へ】	【準八段へ】	【準八段へ】
廣明 小田部愛菜	紀風 大槻あおい	【第四部】	【準十段へ】	【準十段へ】	【準十段へ】	【準十段へ】	【準十段へ】	【準十段へ】	【準十段へ】
廣明 小田部弘子	幸桜 平山明日夢	【初段合格】	【準十段へ】	【準十段へ】	【準十段へ】	【準十段へ】	【準十段へ】	【準十段へ】	【準十段へ】
朱桜 佐藤寿美江	宝 藤井いろは	いづ 工藤 幹子	いづ 赤津 諒	【準十段へ】	【準十段へ】	【準十段へ】	【準十段へ】	【準十段へ】	【準十段へ】
▼第二部	いづ 吉川 奈那	いづ 小澤 由季	幸桜 小柳 歩穂	【準十段へ】	【準十段へ】	【準十段へ】	【準十段へ】	【準十段へ】	【準十段へ】
【五段合格】	いづ 鈴木 千智	いづ 宮崎 結羽	廣明 栗原 友香	幸桜 滝澤 俐人	いづ 本多 結葵	仁千 堀合 湊斗	和心 鈴木 咲那	【準十段へ】	【準十段へ】
いづ 齋藤 栞那	北斗 岡野 春麗	南部 金城 美羅	蓉華 白井美莉姫	【準十段へ】	【準十段へ】	【準十段へ】	【準十段へ】	【準十段へ】	【準十段へ】
華音 山本 育代	【準三段へ】	南部 神谷 武史	【準九段へ】	【準九段へ】	【準九段へ】	【準九段へ】	【準九段へ】	【準九段へ】	【準九段へ】
香春 岡田 祐弥	いづ 浅野 華鈴	▼第五部	【準五段へ】	【準五段へ】	【準五段へ】	【準五段へ】	【準五段へ】	【準五段へ】	【準五段へ】
光明 森 聖燦	彩虹 武田 渚	村田 千枝	幸桜 齊藤 晴	【準五段へ】	【準五段へ】	【準五段へ】	【準五段へ】	【準五段へ】	【準五段へ】
仁千 中島 和奏	仁千 中島 綺菜	羽 村田 千枝	幸桜 齊藤 晴	【準五段へ】	【準五段へ】	【準五段へ】	【準五段へ】	【準五段へ】	【準五段へ】

【師範合格作品】

仁千 石井 風香

長年	莫道秋江冷		
楊柳堤南	是酒樓		
仁千	師格		
石井	風香		

蓉筆 川越 美穂

秦の始皇帝が天下を統一する と丞相李斯は他の六国の文字を 廃し、整理統合を行った。			
三越 美穂			

秦の始皇帝が天下を統一する と丞相李斯は他の六国の文字を 廃し、整理統合を行った。			
長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		
長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

長年 莫道秋江冷			
楊柳堤南是酒樓			
仁千 八段	石井 健樹		

(順不同)

– 51 –

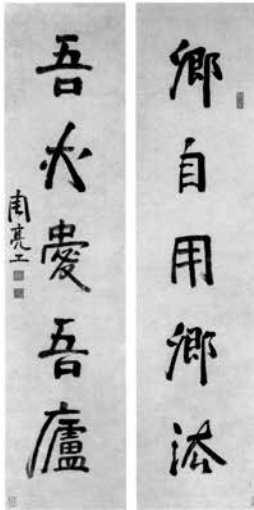
「落款について 13」

—「引首印、游印」とは—

日展会員 岩村節廬 先生

「引首印」は、堂号や風流な趣のある成語を刻したもので、多くは長方形か長楕円形で、書幅の右肩に押します。白文朱文の別は問いません。

元々印は官職名や姓名を刻していました。趣のある成語を刻し始めたのは宋代以後のようです。清代の朱象賢が著した『印典』に「宋より後、閑雑の字を取りて印を作る。書幅の首に印し、之を引首印と謂ふ」とあります。これを「閑防印」という人もいますが、「閑防印」は明代以後、公文書の改ざんを防ぐために押した縦長の印のことです。形が似ているので、混同してしまったのかもしれませんが。



これは周亮工（明末〜清初の進士、篆刻に長じ、収蔵に富んだ）の対聯の作品です。右肩といえ、すこし下がったところに堂号「頼古堂」と刻した引首印を捺しています。あまり高い位置に捺すと尊大に見えるから、少し下げて捺すという人がいますが、それは捺す方の気持ちの問題。むしろ作品全体を見て、どの位置に捺するのが効果的かという観点で考えるべきでしょう。

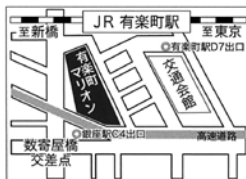
また全体のバランスから引首印以外で、空間の抑えとして捺す印を「游印」といいます。その中でも作品の右下に捺すものを「押脚印」といいます。これも成語を刻したもので、朱白は問いません。趣のある成語を刻した印をいくつか持つていれば、作品の仕上げとして空間を抑えるために游印を捺すことができ、全体が引き締まるでしょう。

どんな印をどこに捺すかというのは、作品の最後の締めくくりとして、作者の感性が問われる問題です。これからも落款と押印について考えていきましょう。

第9回 北斗文會展

敬仰展観 小林斗壘先生遺作

- 会期 10月30日(金)～11月1日(日)
午前11時30分～午後5時
【最終日は午後4時終了】
- 会場 有楽町朝日ギャラリー（有楽町マリオン11階）
東京都千代田区有楽町2-5-1
TEL 03-3284-0131
・JR有楽町駅〈中央口・銀座口〉
・東京メトロ丸の内線・銀座線・日比谷線 銀座駅〈C4出口〉
・東京メトロ有楽町線 有楽町駅〈D7出口〉
- 主宰 北斗文會
- 後援 公益社団法人全日本書道連盟
読売新聞社／謙慎書道會／全日本篆刻連盟



日展

第119回 日本美術展覧会

日本画／洋画／彫刻／工芸美術／書
THE JAPAN FINE ARTS EXHIBITION

- 会場 国立新美術館 東京都港区六本木7-22-2
- 会期 令和8年10月30日(金)～11月22日(日)
[休館日] 毎週火曜日(11月4・10・17日)
※ただし11月3日(火・祝)は開館
[観覧時間] 午前10時～午後6時
(入場は午後5時30分まで)
- 主宰 公益社団法人 日展

令和八年度後期かな昇格試験作品募集要項

◆送り先 水戸市宮町一―九―八―二〇八

◆作品締切 令和八年十二月二十二日

◆発表 令和九年二月号発表

◆課題

①条幅 (古今和歌集より 紀乳母のうた)

(読み) いささめに時待つまにぞ日は経ぬる 心ばせをば人に見えつつ

(歌意) いい機会があろうと、ついうかうかと待っている間に、月日はどんどん経ってしまった。私の恋い慕う気持だけは、あの人の目にしつかり知られながら。

②半懐紙又は半紙 (古今和歌集より 紀乳母のうた)

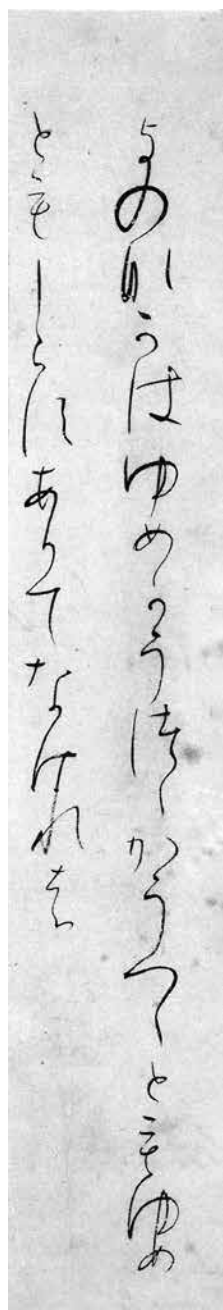
(読み) いささめに時待つまにぞ日は経ぬる 心ばせをば人に見えつつ

(歌意) いい機会があろうと、ついうかうかと待っている間に、月日はどんどん経ってしまった。私の恋い慕う気持だけは、あの人の目にしつかり知られながら。

③臨書 高野切第三種

(読み) 与那かはゆめかうつ、かうつ、ともゆめともしらずありてなければ

④「いろはうた」半紙横に「いろはにはへとちりぬるをわかよたれそつねならむうゐのおくやまけふこえてあさきゆめみしゑひもせすん」を均等に書く。



	課 題	試験資格	試験料
師範試験	①②③の三点提出のこと	五段以上	六、六〇〇円
五段試験	①と②の二点提出のこと	三段以上	五、五〇〇円
三段試験	①と③の二点提出のこと	初段以上	四、四〇〇円
初段試験	③と④の二点提出のこと	一級以上	三、八五〇円
一級試験	④一点のみ提出のこと	新入以上	二、七五〇円

◆受験料 出品料は極力現金書留か郵便振替で納入のこと。振替を使用されるときは領収書かそのコピーを作品に同封のこと。小為替は使用しないで下さい。

作品には半紙、半懐紙、条幅ともに出品票を左下方に、必ず現。段。級、住所姓名と号を記入の上貼付して下さい。(師範試験は①と②、初段試験は③に貼付)

◆臨書作品は、半紙縦1/2切 の大きさにして出品票を貼ること。

◆手本希望者は返信用封筒に住所氏名を書き切手貼付の上、所定の料金を同封の上お申込下さい。

◆肉筆手本特別揮毫 (但し②③④の手本はコピーになります。)

師範・四千元 五段・三千五百円 三段・三千五百円 初段・千円

一級・五百円

申し込み先 水戸市宮町一―九―八―二〇八

〒180-0001 武蔵野市吉祥寺北町三―二―一七

ねむの木コートD棟二〇五 竹内 一先生

十二月号課題予告

十二月二十日締切（事務所必着）

花鳥風月

中学1年

感謝の手紙

中学2・3年

威風凛凛

自 運（1級以下）

神鑒聖恩

九成宮醴泉銘（師範～準初）

年こし

小学3年

白雪ひめ

小学4年

月日進歩

小学5年

学習目標

小学6年

ふで

幼 年

おと

小学1年

ねが

小学2年

たまごの卵

幼 年

くさやのうさぎのせい

小学1年

右と左が、はんと

小学2年

切りをつかて、木を

小学3年

新しく買ってもらった青

小学4年

計画を立てています。

小学5年

自動車の工場を見学した。

小学6年

冬休みを利用して、町の観光

中学1年

力を多くの人に伝え、知ってもら

中学2・3年

学生部硬筆課題予告

一、新しく入会を希望される方は、誌代（前納）を添えてお申込みになればどなたでも誌友になれます。

一、申し込みの際は何年何月から何月までと、郵便番号、住所、氏名、電話番号を、はつきり楷書で、お書き下さい。

「文華」一ヶ月 七五〇円

六ヶ月
一ヶ年

四、五〇〇円
九、〇〇〇円

(各別送料二〇〇円)

一、同一住所に二冊以上の送本であれば送料は無料になります

一、退会、部数変更、送金おくれの場合は前月の十日までにその旨御一報下さい。退会の通知がない時は継続されるものとみなし送本し、その誌代は請求いたします。

一、ご送金は次の方法が便利です。

振替口座 〇〇三九〇—九—六〇七二

真弓書道會

一、支部は二名以上まとまればつくるこ
とができます。

一、支部を新設するときは、支部名、所在地、支部長と支部員名簿を添えてお申込み下さい。

一、十一名以上の支部長には、支部員十一名に一名の割合で「文華」を贈呈します。

一、文華は毎月支部長あてに送り、支部長からそれぞれの支部員に配布していただきます。

一、支部長は、支部員の誌代(前納)をと
りまとめて本部に納入して下さい。

二、支部長は退会や部数に変更があると

きは前月の十日までに事務所に連絡して下さい。

※変更届け先 FAXにてお願いいたします。

○二九(二九七)七七四六番

一、支部長は支部員の清書をまとめて毎月きまりの締切日までに到着するように郵送して下さい。

一、出品券は必ず所定の位置に貼りつけること。

半紙

→ ふせん

条幅

→ふせん

一、出品券には段位以上は朱書、級位者は黒、又は青書のこと。

一段級位を記入される場合、新しく昇格されたときは上の欄に必ずお書き下さい。

級位については、新を上段、旧を下段に必ずお書き下さい。

一、段級位は必ず記入して下さい。記入しないときは新入か級位不明の欄に編入されることがありますから、出品する前に必ず確かめて下さい。

一、はじめて出品されるときは「新」、二回目は「再」、三回目は十級として出品して下さい。

一、段級位は規定部、随意部、臨書部、条幅部とも共通です。

一、ペン字、かな部、細字部、実用書はそれぞれ段級位は別です。お間違いないよう御注意下さい。

師範認定証 (肉筆) 二万二千円

師範認定証 (印刷) 一万一千円

師範格（五段）（印刷）五千五百円

準五段以下
(印刷) 三千三百円

雅号証（肉筆）一万一千円



認定証・雅号証を希望される方は、
事務所へご連絡下さい。

「文華」誌は会員の皆様からの前納による誌代によって運営され発刊しております。何卒前納による誌代納入に御協力賜りますようお願い申し上げます。

今後とも安定した「文華」誌発刊の為に一層の御協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

◆今年より日展のアシストを仰せつかり、日展の作品搬入・審査準備、その後の成績処理等を行うこととなりました。審査は長い期間に亘り、審査員の先生方のご苦勞は大変なものであると感じました。

◇第74回全国真弓書道展の要項が発表になっております。役員は半切½、一般部のサイズは半切と、昨年から謙慎展出品サイズも可としております。学生部の出品は昨年年度増で、全
国より力作が多く寄せられました。出品してい
ない支部長もおられますが、展覧会に挑戦
することは子供たちにとって大きな意味があ
ると思います。御指導の程をよろしくお願
いいたします。74回目は授賞式は実施いたし
ますが、懇親会は中止の予定です。

◇後期硬筆昇格試験の成績が発表となりました。一般部は師範位に二名の合格者を選びました。「挑戦しつて成長しろ。」です。日頃より努力を重ねて挑戦してほしいと思います。学生部のみなさんの作品は力作がとても多かったです。指導された支部長先生もご苦労様でした。

◇10月より銀座教室を開講しております。慶花堂さんの教室ではその場で書けますし、アクセスも良好です。昔の教え子達も通ってくれており、楽しくお稽古しております。興味のある方ぜひ一度見学にいらして下さい。

◇仮名昇格試験のメ切は十二月二十二日となっております。どうか奮つての力作をご期待申しております。仮名部は日展準会員の岩井秀樹先生に手本揮毫をいただき、竹内一先生には色々と生徒拡大にご尽力いただき、盛り上がりて来た気がいたします。

◆後期昇格試験毛筆部のメ切は十月末です。どんな良い作品が集まってくるのか、今から審査が楽しみです。

◇今年は猛暑ではなかったので、多忙ではありましたがなんとか夏を乗り切れる事ができました。一気に秋から冬に向かいそんな予感がありますが、みなさん気温の変化に気をつけてまた来月お目にかかります。(敬齋生)

第42回 読売書法展

令和八年十月二十五日
令和八年十一月一日
発行
印刷

大樹将軍章



常任理事 辻 敬齋



4 × 4
作品サイズ縦×横 (cm)

事務所へ作品送付の際は必ず封筒に「〇月号競書」、「昇格試験作品」と**朱書き**するようにお願いいたします。

競書作品の中に昇格試験作品を入れること、またその逆も避けてください。

また、前納による誌代納入にご協力の程をお願いいたします。

発行所 真弓書道會事務所

発行者 辻 敬 齋

略歴

中国西泠印社 名誉社員

(社)日展 準会員

《改組新第7回・第11回日展特選》

読売書法会 常任理事

《読売準大賞2回》

謙慎書道会 常任理事

全日本篆刻連盟 副事務局長

北斗文會 副理事長

茨城書道美術振興会 副理事長

筑波大学大学院芸術研究科修了

大東文化大学文学部卒業

《書道部幹事長》

〒310 0015 茨城県水戸市宮町一九八・二〇八

TEL 〇九〇・一四二六・五〇二八

FAX 〇二九・二九七・七四六

ホームページ

mayumishodokai.wixsite.com/site/blank



氏 名